

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅰ	授業コード	121676A101	単位数	1単位
担当者(所属)	川崎 順子(福・福)、日田 剛(福・福)、西田 美香(福・福)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2022年度前期	授業形態	演習		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められるソーシャルワークの知識と技術について、実践的に習得するDP(3)。 専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ソーシャルワーク演習Ⅰでは、基本的な援助者としてのあり方を問い、価値観の相違や自己理解、他者理解を通して自己覚知を行うとともに、基本的な面接技術・コミュニケーション技法を習得するDP(4)。 授業は、個別指導ならびに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)を中心とする演習形態で行うCP2(11)。</p>				
到達目標(SBOs)	<p>1) 自己覚知を行い、自身の援助者としてのあり方が説明できる。 2) 基本的なコミュニケーション技術を習得する。 3) 基本的な面接技術を習得する。 4) フィールドワークを通して面接体験を試みる。 *木城町連携推進事業により実践場面で体験する。</p>				
実務経験のある教員による教育	科目担当(川崎・日田)は、いずれも相談援助の実現場(医療や福祉)5年以上の経験に基づき、相談援助における基本的面接技術を修得することを目的として授業を行う。				
評価方法	授業中における演習実施中の態度50%、レポート課題などを50%とし、統一的に評価する。				
準備学習・履修上の注意等	<p>社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に 関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。</p>				
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに准ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)				

授 業 計 画				
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員
2	1)2)	ソーシャルワークに求められる基本的知識と技術について理解する。	演習	全員
3	1)2)	自己覚知① 自己紹介・他者紹介を通して自己観察を行い、自分を理解する。	演習	全員
4	1)2)	自己覚知② ライフストーリーを振り返り、他者の存在との関係から自分理解を深める。	演習	全員
5	1)2)	自己覚知③ 他者との価値観の違いを学び、自身の価値観と専門職としての価値観の置き方を理解する。	演習	全員
6	1)2)	コミュニケーション技法① コミュニケーションの基本形を体験的に理解する。(言語的・非言語的)	演習	全員
7	1)2)	コミュニケーション技法② 基本的応答技法を理解する。	演習	全員
8	1)2)	コミュニケーション技法③ 面接における傾聴・共感の意味と方法を理解する。	演習	全員
9	1)2)3)	面接技術① 相談援助における面接の目的と特性を理解する。	演習	全員
10	1)2)3)	面接技術② 基本的な面接の展開を理解する。	演習	全員
11	1)2)3)	面接技術③ 具体的な面接場面を想定し、模擬面接を試みる。	演習	全員
12	4)	具体的場面による実践① フィールドワークを通して対人援助コミュニケーション技法を試みる。	演習	全員
13	4)	具体的場面による実践② フィールドワークを通して面接の展開を試みる。	演習	全員
14	4)	具体的場面による実践③ フィールドワークを通して対人援助の技法を習得する。	演習	全員
15	1)2)3)4)	【授業のまとめと振り返り】 基本的面接技術の習得状況を評価し、前期演習を振り返る。	演習	全員

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】
講義時に配布するプリントなどを使用する。
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】
講義時に配布するプリントなどを使用する。